

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、15～19 台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり1.7トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり5トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり2.4トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり2.3kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.2トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり5.3kgの水揚げで、前週の2.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.0トンの水揚げで、前週の2.3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり1kgの水揚げ（前年を下回った）。

定置網----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり4.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり9.7kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり3.29kgの水揚げ。

一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり5.29kgの水揚げで、前週の2.6倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり8kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/10～4/15の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～島根半島沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

「第6-7号 五島灘・壱岐水道・対馬東水道（対馬南・対馬南東・対馬東）の観測結果を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>